

# アークの活動

10年の歩みとこれから

## 来

年は新しい1000年が始まる記念すべき年ですが、アークにとっても創立10周年の節目にあたります。振り返ると、様々なことがあった10年間でした。数人の友人とボランティアとでスタートした小さな無名の動物保護施設が、メディアの宣伝と人々のクチコミのおかげで、今や日本中の大勢の人に知られる大きな組織に成長しました。1990年までは、私は野良猫や捨て犬などを個人的に救済してきました。英語の先生をしながら、動物を養う費用を捻出しなければならなかったんです。今では、必死にやりくりをしていた当時の私たちの苦勞を知る人も少なくなりました。私たちは何もかも自分たちで作りしました。利用できるならどんな物でも、ありがたく頂戴しました。米やうどん、スパゲッティにわずかな肉を加えて、犬の食事を作ったものです。犬用のビスケットを買うような余裕はありませんでした。

1990年になって、助けを必要としている多数の動物を救済し続けるためには、広く外部の人たちにスポンサーをお願い

りも、私たちが正式な法人団体として認定されることが重要でした。昨年までは、法人資格（社団法人とか財団法人）を取るのが難しく、（それに費用もかかって）大変でした。しかし、新しく制定されたNPO（非営利組織）法のおかげで、申請の要件と手続きが簡単になり、小さなボランティア・グループでもNPOになれるようになりました。

アークは、現在大阪府にNPO資格を申請しておりますことをご報告いたします。この新しい資格を得た場合、この分野での社会的信用度が高まり、将来にわたる安定を保証されることとなります。

会員の皆様、ペット・スポンサーの方々、援助して下さいました全ての方、ボランティア、それにスタッフ等お一人お一人に、この10年間にお寄せ頂いた力強いご支援とご助力に対して心から感謝申し上げます。皆様のお力添えがあったからこそ、助けの必要な動物に関わる活動を続けることが出来たのですから。

アークの新組織体制についての詳細は、次号ニュースレターでお伝え出来る予定です。

エリザベス・オリバー

## 10 YEARS ON

いして支援を求めなければ実現できないと、私は考えるようになりました。ボランティアの善意に全面的に寄りかかるだけでは駄目だということにも気がきました。私たちの施設が発展して、より多くの動物を受け入れるためには、有給の常勤スタッフが必要でした。こうして、アークが設立されたのです。種々の広報活動によって会員を集め、この国のペットの悲惨な現状に関心を寄せる人たちの支持も得られるようになりました。

アークにとって運命的な転機が訪れたのは、1995年1月17日、一瞬にして多数の人命を奪い、阪神地区に甚大な被害をもたらしたあの阪神大震災でした。突如として、私たちは緊急事態に追い込まれ、1年間で約600匹もの被災動物を保護することになりました。避難施設を3倍に拡張しなければ対処できませんでした。大災害によって精神的ショックに打ちのめされた時期ではありましたが、私たちはこの経験を通して多くのことを学び、アークもまた成長したのです。

設立後10年になろうとする今、私たちの行く手に道が見えていますが、今後どのコースを歩むべきか、次の10年間にどの方向に進もうとするのかを、じっくりと考える時期にきています。アークの将来を確保するためには、まず何よ

Next year marks the start of the new millennium. It is also ARK's tenth anniversary. What a long way we've come in ten years. From a small unknown sanctuary run by a few friends and volunteers, it has grown into a major organization which through the publicity of the media and word of mouth is known to many people throughout Japan. Up to 1990 I had been rescuing stray, unwanted cats and dogs

## ARK 10周年記念！

as an individual, working as an English teacher to support them. Few people remember the struggles we had in those days, trying to make ends meet. We built everything ourselves and were grateful for any used or old items that could be used in some way. We cooked rice or noodles or spaghetti for the dogs adding a bit of meat. We couldn't afford to buy dog biscuits.

It was in 1990 that I decided that without outside sponsorship and support it would be difficult to continue rescuing the many animals that were crying out for help. It was also difficult to depend entirely on the goodwill of volunteers. We needed regular paid staff if our facilities were to expand and the number of animals increase. So ARK was established and through various publicity campaigns we began to get members, people who were also sympathetic and concerned about the plight of animals in this country.

The watershed for ARK came on January 17th 1995 when the

